



いつでもおいで! 学校図書館



すべての学校図書館に
学校司書の配置を

日高教学校司書部

学校司書の仕事



● おもしろい本ないですか？

読書相談に応じます。対話をしながら、その時の生徒にあった本を探し出します。予約・リクエストもOK。いろいろな分野の本を揃えて準備します。



● 領土問題の宿題が出たんだけど・・・

質問・疑問に資料提供で応えます（レファレンス）。資料は本とは限りません。新聞・雑誌・インターネットの活用も・・・。



● 地理の授業で国別に特産物をまとめたいのですが

関連する資料を準備し、授業を支援します。足りないときは購入したり、他の図書館から借りたりして提供します。ブックトークで関連する本の紹介をしたり、資料探索の手がかりとしてパスファインダーなどのプリントも作ったりします。



● この本あったんだ！ずっと読みたかったんだ

「映画化された本」「クリスマスの本」など、折々に本を展示して紹介します。展示する本にはポップ（紹介文）をつけて、より興味・関心を引く工夫もします。
「進路」「小論文」などの本のコーナーは常設し、また、口に出しては言えない悩みに応える本のコーナーも、そっと作ります。



● 図書館だより読んでね。

図書館とクラスをつなぐ図書委員会を指導します。図書委員会は図書館だよりを作ったり、読書会などの行事を運営したりと活躍します。

（イラスト わたなべふみ）

学校司書は図書などの収集・整理・提供を通して、生徒や職員を読む自由・知る自由を保障し、学習活動を支援しています。また、生徒一人一人に合わせて本を紹介し、心の成長をサポートしています。そのためにも、利用者を知り、本を知り、利用者とは結び付ける専門的知識と技術が求められます。図書館には、いつでも図書館にいる（専任・専門・正規）学校司書が必要です。

生徒たちの声

「本に囲まれるのが好き!
本の古いにおいと
新しいにおいが
混ざっている空間が好き。」

「心がやすまる。居心地がいい。」

「いろいろな本に出会って、
世界が広がる。」

大好き♡
図書館

「新刊本が早く入って
うれしい♡」

「大好きな雑誌があるので、
いつも見えています。」

「図書館がもっと広くなって、
本が増えたらうれしいな。」

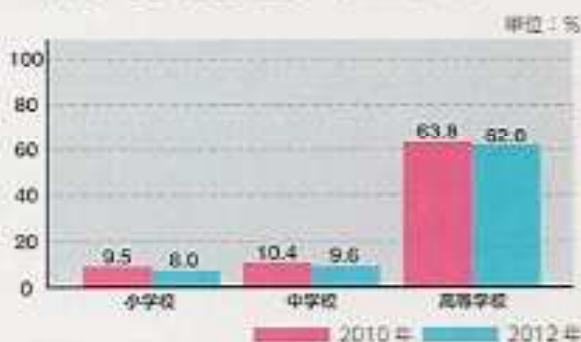
「自分の読みたい本が
たくさんあるので楽しい。」

学校図書館の現状

■学校司書配置率 (公立学校)



■常勤の学校司書配置率 (公立学校)



学校司書の配置は、自治体により大きな差があります (配置状況の日本地図を参照)。これは学校司書に法的な位置づけがないためです。小・中学校では、配置されている学校司書の多くが非正規や非常勤の身分です。なかには複数校を掛け持ちする学校司書もいます。高校では、退職後の不補充や他の仕事との兼務が進められ、配置率が下がってきています。学校図書館の専門的な職務を担う学校司書を、関連法規に位置づけることが必要です。

■学校司書の有資格率 (公立学校・2012年)



棚表示で返却・ 検索をスムーズに

長崎県立A高等学校
学校司書



パソコン画面での工夫

本校図書館は2003年度からパソコンによる蔵書管理を行っています。バーコード化したことで、毎日の貸出・返却業務は簡単になりました。また、時間と手間のかかる蔵書の点検も効率よくできるようになり、仕事の精度が上がったように思います。

パソコン管理された蔵書を利用者の役に立てられるよう、館内の整備に力をいれてきました。特に、見ばえよくわかりやすい棚づくりに欠かせない棚表示の作成は最初に行いました。時期や話題に応じた本を集めた別置コーナーをたくさん作り、そこには、必ずそのコーナーの表示を設置しています。

この表示は利用者に便利なものであると同時に、運営する図書館側にとっても重要なポイントになります。司書のみならず、図書館スタッフの一員である図書委員にも返却された本を棚に戻せるように、本の住所になる「日本十進分類法」のこと、そして棚表示のことを最初に説明します。本が常に元の場所にあることが大事だということは、本や図書館が好きで図書委員になった生徒には理解が早く、棚表示を手がかりに本を元の場所に返していくことを楽しんでいるようです。棚表示名はパソコンの図書データの中にある「配架場所」と連動させ、データ検索でヒットした本を棚に探しにいくときのよすがにしています。

さらに、本校ではもうひとつ、棚表示のほか



別置表示シール



棚表示

に本自体に別置表示シールを貼って、返却や検索の助けになるようにしています。最初に書いたように、時期や話題に応じた別置コーナーをたくさんつくっているため、分類番号だけを見ては、正確に本棚に戻すことができません。そこで、考え出したのが別置シールなのです。別置コーナーに並べる本には、分類番号にプラスしてその棚表示を印字したシールを貼るのです。最近では、棚に番号も貼付して、あの本はどこにあるかと聞かれたとき、または説明するときにも簡単になりました。

引き継がれる 図書委員会の活動

大阪府立今宮工科高等学校
学校司書



本校の図書委員会は1年を通じて様々な活動をしています。

図書委員会は原則各クラス1名ですが、2名～3名選出されることもあります。人気の委員会なのです。委員会は年間10回以上開催し、昼休みの時間に図書室で行います。

年度当初の仕事は、新入生に対して利用案内を作成することです。表紙は毎年絵の好きな生徒が書きます。次のイベントは公共図書館見学です。希望者を中心に、大阪市立中央図書館・大阪府立中央図書館・国立国会図書館関西館などを毎年順に見学します。百万冊以上の本を収納する地下書庫を案内していただいた時など、生徒たちは驚き、目を見張ります。夏休みには1週間ほどかけて、本のラベル交換・修理、梱卸など蔵書整理をします。2万冊の蔵書のバーコード貼りを、20日以上かけて完了させた年もありました。

図書委員会は毎年文化祭の展示部門に参加します。私が赴任した年、図書委員長が「文化祭で鶴を折って絵を描きましょう。」と提案しました。私は何のことか理解できませんでしたが、生徒に引きずられてスタートしました。それは、図書委員が手分けして折った色とりどりの鶴1万羽を点描画にするとりくみでした。図書委員は1人300羽がノルマです。親兄弟やクラスの仲間に手伝ってもらい鶴を折ります。すると「図

書委員会は文化祭で何をするのか？」と家の人や、クラス、学校中から注目を浴びました。その結果、展示部門で最優秀賞を頂きました。図書委員会の文化祭参加は今年も続いています。

年間の最後の行事として、S高校と合同読書会を開催します。今年で24年目になります。テーマを決め、参加予定者は予め文章を読んでおき、当日意見交換をします。意見に100点も0点もありません。色々な角度から各自の思いを出し合うことが最も大切です。他の人の意見を聞くことによって自分の意見を磨くことができます。

こうして本校図書委員会の1年が終わります。次の年は図書委員の半分が入れ替わりますが、毎年志願してくれる子も出ます。図書館を居場所とする子、図書委員会で活躍する子がいます。

これも私がほぼ専任として関わっているからかもしれません。



Look



「POP作成」の 授業とコラボした 学校図書館づくり

埼玉県立所沢西高等学校
学校司書



さまざまな学校図書館活動の中で、重要なものの1つが授業での利用です。本校でも、以前より調べ学習などで図書館利用が行われており、授業・課題に対応した資料の提供をしてきました。自校の図書館資料に加え、他校図書館や公共図書館との連携によって借受けた資料も活用しています。

2012年度からは、教科「情報」と図書館のコラボで「プレゼンテーション実習～POPを作って自分のイチオシ本を紹介しよう～」という授業を行っています。

この授業は、1年生全8クラスが対象。自分がお勧めしたい本を選んでその本のPOPを作成、最後の授業でPOPを見せながら1分間プレゼンテーションを行うというものです。1時間目は教員による課題説明のあと、司書がスライドを用いて書店POPを多数紹介し、良いPOPを作るための解説を行います。2～4時間目にPOPの制作、5時間目にプレゼンの原稿作成とリハーサルを行い、最終6時間目が班に分かれての生徒一人ひとりによる発表本番です。完成したPOPには生徒の本に対する思いがこめられており、デザインや言葉のセンスの良さなどにも驚かされます。

ここまでで授業は終わりですが、図書館ではさらに「POP祭」と銘打って特集コーナーを設

置。生徒が作ったPOPを本と一緒に展示しています。本校ではテーマ別に本を集めた常設コーナーを充実させるとともに、学校行事や季節、生徒の興味関心等に合わせた月間特集コーナーにも力を入れています。中でも「POP祭」は友達が紹介している本であるため、たくさんの1年生が図書館を訪れ、POPや本を手にとって眺める姿が見られます。展示に足を止める2・3年生も多く、POPで紹介された本が多数貸出されています。

生徒一人ひとりの読書を支え、授業との連携などを行うためには学校司書が必要です。学校司書が中心となり、専門的な知識・経験を生かしながら学校の状況に合わせた活動をすることで、魅力的な学校図書館ができるのではないかと思います。



Look



「POP作成」の 授業とコラボした 学校図書館づくり

埼玉県立所沢西高等学校
学校司書



さまざまな学校図書館活動の中で、重要なものの1つが授業での利用です。本校でも、以前より調べ学習などで図書館利用が行われており、授業・課題に対応した資料の提供をしてきました。自校の図書館資料に加え、他校図書館や公共図書館との連携によって借受けた資料も活用しています。

2012年度からは、教科「情報」と図書館のコラボで「プレゼンテーション実習～POPを作って自分のイチオシ本を紹介しよう～」という授業を行っています。

この授業は、1年生全8クラスが対象。自分がお勧めしたい本を選んでその本のPOPを作成、最後の授業でPOPを見せながら1分間プレゼンテーションを行うというものです。1時間目は教員による課題説明のあと、司書がスライドを用いて書店POPを多数紹介し、良いPOPを作るための解説を行います。2～4時間目にPOPの制作、5時間目にプレゼンの原稿作成とリハーサルを行い、最終6時間目が班に分かれての生徒一人ひとりによる発表本番です。完成したPOPには生徒の本に対する思いがこめられており、デザインや言葉のセンスの良さなどにも驚かされます。

ここまでで授業は終わりですが、図書館ではさらに「POP祭」と銘打って特集コーナーを設

置。生徒が作ったPOPを本と一緒に展示しています。本校ではテーマ別に本を集めた常設コーナーを充実させるとともに、学校行事や季節、生徒の興味関心等に合わせた月間特集コーナーにも力を入れています。中でも「POP祭」は友達が紹介している本であるため、たくさんの1年生が図書館を訪れ、POPや本を手にとり眺める姿が見られます。展示に足を止める2・3年生も多く、POPで紹介された本が多数貸出されています。

生徒一人ひとりの読書を支え、授業との連携などを行うためには学校司書が必要です。学校司書が中心となり、専門的な知識・経験を生かしながら学校の状況に合わせた活動をすることで、魅力的な学校図書館ができるのではないかと思います。



学校司書(高校)の配置状況

自治体により
学校司書の配置率が
違います!!

秋田



富山



大阪



長野



文部科学省平成24年度「学校図書館の現状に関する調査」
日本高等学校教職員組合 2013年度「学校図書館に関する基本調査」
※配置の数値が異なるのは、日高教調査では、団体職員・ボランティア等を含めていないため。



日本高等学校教職員組合 (日高教)

〒102-0084 東京都千代田区二番町12-1 全国教育文化会館
電話 03-3230-0284 E-mail: toshokan@nikkokyo.zenkyo.org

	2012年文部科学省調査		2013年日高教	
	学校数	配置率 (%)	正規率 (%)	専任率 (%)
全国	3602	71.0		
北海道	244	13.5		
青森県	59	13.6		
岩手県	65	6.2		
宮城県	79	94.9	99	82
秋田県	53	52.8	0	100
山形県	47	100		
福島県	88	69.3	85	100
茨城県	99	50.5		10
栃木県	62	100		
群馬県	69	100	69	
埼玉県	152	100	84	99
千葉県	132	84.5		
東京都	189	85.2		
神奈川県	158	98.0		
新潟県	89	75.3		
富山県	41	90.2	21	64
石川県	45	95.6		
福井県	31	83.9		
山梨県	33	100	34	88
長野県	86	95.3	61	100
岐阜県	66	97.0	73	96
静岡県	99	75.8	31	29
愛知県	163	46.0	52	20
三重県	57	100		
滋賀県	48	100	67	82
京都府	55	83.6	96	100
大阪府	162	43.2	87	29
兵庫県	160	40.6	57	22
奈良県	35	82.9		
和歌山県	38	89.5	93	100
鳥取県	24	100		
島根県	36	100	47	100
岡山県	67	80.6		
広島県	92	3.3		
山口県	57	42.1		0
徳島県	33	100		
香川県	32	100	75	100
愛媛県	50	58.0		
高知県	35	88.6	63	
福岡県	104	98.1		
佐賀県	36	100	0	100
長崎県	57	36.8		
熊本県	57	98.2		
大分県	45	100		
宮崎県	42	81.0		
鹿児島県	71	98.6		
沖縄県	60	100		

配置された司書の内、正規率と専任率！